

# 脱炭素モデル地区のPRの考え方

## ●脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」の概要

### (1) 脱炭素アクションみぞのくちとは

- 川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて2020年2月に2050年のCO2排出実質ゼロを表明
- 同年11月に策定した脱炭素戦略の2030年に向けた取組の一つとして**脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」**（DAM）を創設
- 多くの市民・事業者・団体が取組を進めており、脱炭素社会を実現するためのポテンシャルがある地域として、**高津区溝口周辺地域**を設定

#### 【目的】

脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの**環境配慮型のライフスタイルへの行動変容**を促進し、脱炭素社会の実現を目指す

みんなで  
脱炭素アクション!



Carbon Zero Action  
MIZONOKUCHI

### (2) 脱炭素アクションみぞのくち推進会議

- 脱炭素の取組を実施している地元企業や地域団体など、溝口地域で活躍する事業者・団体等が集まり、取組の展開や広報などを連携して推進
- 各主体の取組に関する**情報共有・発信**、イベント等の開催、会員事業者の**つながり作り、事業マッチング**などを実施
- 令和6年1月現在の会員数は48

#### 主な会員

- 東急（株）
- 川崎市地球温暖化防止活動推進センター
- ENEOS（株）
- みぞのくち新都市（株）※ノクティ
- マルイファミリー溝口
- 洗足学園中学高等学校
- （株）川崎フロンターレ
- かわさき生活クラブ
- JR武蔵溝ノ口駅
- 富士通（株）
- Amazon



### (3) 脱炭素先行地域

- 2030年度までの**民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロ**を目指す「脱炭素先行地域」として、2022年4月に国から選定された
- 国の交付金を活用しながら全国のモデルとなるよう取組を推進

#### 取組① 川崎市高津区溝口周辺に所在する民間施設群（脱炭素アクションみぞのくちの一部）

事業推進主体：「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の会員企業

（特徴）大都市の中心部の市街地・交通要衝

商店街・商業施設・オフィス・業務ビル・製造工場等が所在

#### 取組② 川崎市のすべての公共施設群（約1,000か所）

事業推進主体：川崎市

（特徴）民生業務部門で市域最大の温室効果ガス排出事業者

### (4) 展開中の主な脱炭素アクション

- 水素エネルギーの展開
  - ▶ ENEOS川崎高津水素ステーション
  - ▶ 自立型水素エネルギーシステム（JR武蔵溝ノ口駅）
- 市民の行動変容の促進に向けた実証事業
  - ▶ シェアサイクルポート
  - ▶ 給水スポット
  - ▶ プラスチックごみの回収
- 再生可能エネルギーの導入
  - ▶ ノクティプラザ
  - ▶ 東急線（全線）
  - ▶ 富士通ゼネラル
- 多様な主体の連携による脱炭素アクション（プロジェクト）創出
  - ▶ キッズYouTuberが脱炭素の取組を紹介する動画
  - ▶ 市民の行動変容アプリ

会員一覧やその他の取組についての詳細は下記を参照のこと

<https://carbon0-mizonokuchi.jp/>

## ●令和5年度PR事業の実施状況

### (1) 目指す方向性

- ・ 市民・事業者に「自分たちも脱炭素の取組に関わっている」と実感させることが重要
- ・ 「みぞのくちでの生活の中で**何気なく脱炭素に貢献**している」という事実を一連のストーリーとして描くことで当事者意識を喚起し、ストーリーに沿った広報やアクションを起こすことで**情報拡散と話題化**を目指す
- ・ 話題性を高めることでモデル地区から脱炭素のムーブメントを起こし、他地域に波及させることを目指す

### (2) 市民向けアンケート

脱炭素アクションみぞのくち (DAM) の現在地、情報発信手法の検討・確認を目的として、市民をターゲットにアンケート (Webアンケートモニター) を実施 (n=701)

#### 【主な結果】

- ・ DAMの認知率は市内で1割強 エリア内で13~17%
- ・ 脱炭素知識・意識・行動は女性>男性、30代が最も低い傾向
- ・ キーワード
  - 男女全世代に響きやすいのは「地球温暖化」
  - 「脱炭素」は認知低め (身近でもなく、イメージしづらい)
  - 「SDGs」は聞き飽きてピンとこない
- ・ 脱炭素に関する意識・行動レベルが高い層でSNS利用率が高い

#### 【分析】

- ・ 「脱炭素」に繋がる様々な**取組の見える化**が必要
- ・ **情報発信力の高い層**に向け、DAMの知名度の向上が必要

### (3) 全体像

- ・ 広報のゴールは、サステナブルな街として内外に認知されること
- ・ DAM自体を知ってもらい**情報のフォロワーを増やす**ことで、個々の活動の情報が広がっていく状態 (= 認知拡大) を作る



### (4) 令和5年度の取組

#### 【コンセプト】

- ・ 「脱炭素、結構楽しめそうかも」と気付いてもらえるような仕掛け
- ・ 「まるっとサステナ」の拡散用ワードを横断的に使用

#### 【まるっとサステナCAMP】

- ・ 高校生から社会人までZ世代が、DAMの活動の様子を**地域の人が楽しく学びながら情報発信**する取組
- ・ それぞれの目線から、記事や活動レポートをHP・SNSで発信



#### 【まるっとサステナフェスティバル】

- ・ 溝口駅周辺で開催した、食・資源循環・住まいなど様々な脱炭素・サステナブルの**取組を体験できるイベント**
- ・ 地元企業・飲食店・農家・市民・アーティストが参加し、ワークショップ、ステージ、マルシェ等を実施



#### 【まるっとサステナグルメウィーク】

- ・ 50以上の店舗や農家が参加する、地産地消・脱炭素グルメリを**楽しめるフードフェスティバル**
- ・ 地元農家から提供された野菜等を使い、溝口駅周辺の飲食店が脱炭素/サステナブルグルメリを販売



#### 【PR活動・メディアアプローチ】

- ・ 上記取組について、市の報道発表等に加え、PRTIMESを通じてメディア向けに発信
- ・ 記事化・取材誘致を目的としたメディアアプローチを実施

#### 【広報戦略】

- ・ 上記を踏まえ策定中



## ●（参考）令和5年度「まるっとサステナフェスティバル」開催概要

### （1）概要

- ・ 日時 令和5年11月18日 11時00分～16時00分
- ・ 会場
  - JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路
  - キラリデッキ通路
  - マルイファミリー溝口入口
  - 旧平瀬川遊歩道（川崎市高津区溝口1-13） ほか
- ・ 出展団体数
  - ワークショップ（ブース出展） 16
  - マルシェ 7
  - その他、ステージ出展団体等
- ・ 出展料 無料
- ・ 運営 事務局（受託業者）及び川崎市

### （2）会場について

- ・ （1）記載の会場は川崎市が確保
- ・ その他、一部団体は自前の敷地を活用しサテライト会場を開催

### （3）什器・備品等

以下について、各出展団体からの希望等を踏まえ事務局（受託業者）にて手配（※レンタル又は関係者から借用）

- ・ 長テーブル（W180cm） 46
- ・ パイプ椅子・丸椅子 93
- ・ イーゼル 34
- ・ ポスター等掲示用パーテーション（W90cm×H180cm） 22
- ・ フロアスタンド（L字スタンド・A3掲示用）&出展者サイン 13
- ・ テント 8
- ・ 三角コーン 24
- ・ コーン用バー（2m） 21
- ・ イベントサインボード 各種
- ・ ステージ関係機材（芝生シート、ポータブル電源、音響等）

### （4）広報

- ・ チラシ（A4両面・7,200枚）、ポスター（A2片面・50枚）を作成
- ・ 市内教協施設、高津区内小学校、DAM会員事業者、その他イベント出展者等に配布
- ・ ポスターはデータをデジタルサイネージ表示用にも転用

### （5）当日の様子等



### （6）その他詳細

下記を参照のこと

<https://carbon0-mizonokuchi.jp/sustaina-festival/>